

プロジェクト事例発表

資料6

プロジェクト名	幹事
農林水産業・食品分野	
⑭ 九州木材活用促進プロジェクト (P1~P2)	九州経済連合会
観光分野	
⑯ 九州観光戦略プロジェクト (【資料5】)	福岡県
横断的取組	
⑳ 九州ー沖縄連携推進プロジェクト (P3~P4)	沖縄県 沖縄総合事務局

九州・沖縄地方成長産業戦略

⑭九州木材活用促進プロジェクト

平成27年12月21日
九州経済連合会

⑭九州木材活用促進プロジェクト【幹事：九州経済連合会（林業部会[サブリーダー 九州の森林づくり推進会議]）】

目的・取組の概要

九州の木材生産のポテンシャルは高く、今後は戦後造林した人工林が収穫期を迎えるため、九経連が策定した「九州地域の森林・林業・木材産業アクションプラン」に基づく移出・輸出や土木用材等への利活用を官民連携して実施する。

設定目標：ビジネスモデルの確立（0地域→5地域）、移出・輸出による九州産材の利用拡大、住宅用材以外（土木利用）の需要拡大

27年度の活動実績

◆主な活動実績

○【具体的な活動内容】

○林業部会（旧 九州次世代林業部会）

- ・5月26日 第1回林業部会開催。平成27年度事業計画を検討。
- ・2月29日 第2回林業部会開催予定。平成28年度事業計画(案)・要望(案)を検討予定。

①事業WG

モデル地域（対馬、筑後川、鹿児島県霧島市）において、木材産業の川上～川下までの担い手連携による木材利活用推進や、商談会実施等により、産業振興を促進。

- ・6月11日 九州の木材産業関係者間の情報共有化を目的に、「九州の森林・林業・木材産業交流会」を開催。参加者77名。[対馬]
- ・8月19日 今井林野庁長官ほか「九州・山口地域における農林水産業の振興に関する要望」を手交。
- ・9月9日 第1回WGを開催。平成27年度事業進捗・下期事業について検討。
- ・9月25日～26日 「中国、韓国向け木材輸出商談会in福岡」を開催。
- ・9月26日～27日 住宅資材メーカー主催の「住まいの耐震博覧会」において九州産材のPRを実施予定。[東京ビックサイト]等
- ・12月10日「九州の森林・林業・木材産業交流会」開催。[日田市]
- ・1月21日 第2回WG開催予定 平成28年度事業計画(案)・要望(案)検討予定。
- ・1月29日～31日 住宅資材メーカー主催の「住まいの耐震博覧会」において九州産材のPRを実施予定。[東京ビックサイト]等
- ・2月10日 「九州の森林・林業・木材産業交流会」を開催予定。[福岡市]
- ・3月 「九州の森林・林業・木材産業交流会」を開催予定。[熊本県五木村]

②調査・研究WG

- 九州産材輸出のための市場調査、木材の有効利用と利用拡大等調査・研究。
- ・7月23日 第1回WGを開催。製材品輸出の課題について検討。
 - ・9月9日 第2回WGを開催。川上～川下の横断的な住宅部材の検討。
 - ・1月21日 第3回WG開催予定 再造林対策・土木利用について検討予定。
 - ・2月 韓国木材業視察・商談会を開催予定

○他県との連携

- ・「林業部会」のもと、アクションプランに基づく、九州各県一体となった取り組みを実施中

林業部会（旧 九州次世代林業特別部会 平成27年4月より名称変更）

（設置）平成25年7月
（構成員）九経連林業関係会員企業、九州森林管理局、九州7県の林政課他
（概要）平成25年5月策定の「九州地域の森林・林業・木材産業アクション」の実施。

○活動予算等の獲得状況

- ・「中国、韓国向け木材輸出商談会in福岡」開催費用について、農林水産省ジェトロと交渉し了解を得て先方負担とした。

◆27年度の評価と今後の課題

○27年度上期評価

- ・川上・川中・川下の情報交換の場の提供を目的に「九州の森林・林業・木材産業交流会」を対馬で開催
- 木質バイオマス発電をテーマに島内外の行政、森林組合、住宅産業等から77名を超える参加があり、関心を高めることができた。

- ・「中国、韓国向け木材輸出商談会in福岡」を開催
- 中国3社、韓国4社のバイヤーが来福。福岡5社他九州各県と他地域より29社のセラーが参加して、個別商談を実施。
- 商談総数75件、成約見込件数37件／金額297百万円

- ・新たなモデル地域の選定
- 既存の3地域の内、鹿児島県霧島市のプロジェクトが終了。
- 新たなモデル地域として、熊本県五木村、福岡市を選定。

○今後の課題

- ・来年度「木材輸出商談会」の予算獲得等、活動費の確保が課題

⑭九州木材活用促進プロジェクト【幹事：九州経済連合会（林業部会[サブリーダー 九州の森林づくり推進会議]）】

来年度以降の活動計画

数値目標設定： 設定済

- 目標達成に向けた活動方針及び活動内容
- 「林業部会」のもと、アクションプランに基づき、「九州の森林づくり推進会議」と連携して、九州各県一体となって以下の取り組みを継続実施
 - ・関係機関と連携して、モデル地域でのビジネスモデルの確立（目標：3地域⇒5地域）
 - ・「木材交流会」を開催し川上・川中・川下の情報交換の活発化による連携強化（サプライチェーンの構築）
 - ・自給率を維持しつつ、移出・輸出による九州産木材の利用拡大
 - ・福岡、東京での「九州産材のPR」開催等による移出の拡大、「製材品輸出商談会」の開催等による輸出促進
 - ・住宅用材以外（土木利用）の需要拡大
 - ・「木材交流会」の開催による公共建築物の木質化、国産材の土木利用の啓発活動による利用拡大
 - 27年度の活動を通じて新たに設けた目標とそのための活動
 - ・特になし

◆行動計画

活動内容	平成27年度下期	平成28年度上期	平成28年度下期以降
○ビジネスモデルの確立 現在指定の3地域（平成26年度1地域完了） 木材交流会の開催	新たに2地域を指定（3地域⇒5地域）		
	ビジネスモデル確立のため、関係機関と連携して支援。「木材交流会」の開催		
○移出・輸出の拡大 福岡、東京での「九州産材のPR」開催等による移出の拡大 「製材品輸出商談会」の開催等による輸出促進	平成27年度自主目標設定 福岡、東京での「九州産材のPR」開催（9月福岡、1月東京） 「製材品輸出商談会」の開催（9月）		
○住宅用材以外（土木利用）の需要拡大 「木材交流会」の開催による啓発活動により利用拡大	平成27年度自主目標設定		
	「木材交流会」の開催による啓発活動により利用拡大		

⑭九州木材活用促進プロジェクト 製材品輸出商談会について

◆「製材品輸出商談会in九州」

- 開催期間：平成26年12月10日（水）～12月12日（金）
- 開催場所：12月10日 宮崎市、12月11日 八代市、12月12日 日田市
- 主催：九経連、JETRO
- バイヤー：韓国3社、中国3社、合計6社
- セラー：福岡7社、熊本6社、大分6社、鹿児島3社、宮崎8社
他地域5社、合計35社が参加
- 商談総数3会場合計123件、成約見込件数19件、成約見込金額245百万円

◆「中国、韓国向け木材輸出商談会in福岡」

- 開催期間：平成27年9月25日（金）～9月26日（土）
- 場所：福岡市
- 主催：九経連、JETRO
- バイヤー：韓国4社、中国3社、合計7社
- セラー：福岡5社、佐賀2社、長崎2社、熊本5社
大分5社、宮崎4社、鹿児島1社、他地域5社、合計29社が参加
- 商談総数75件、成約見込件数37件、成約見込金額297百万円



九州・沖縄地方成長産業戦略

②九州－沖縄連携推進プロジェクト

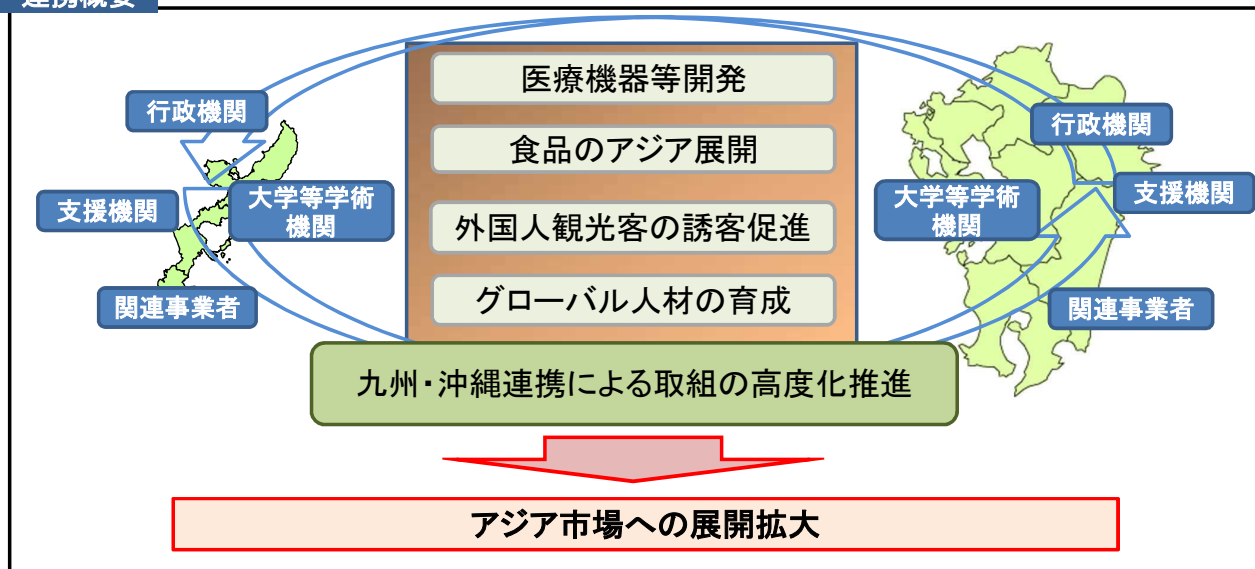
平成27年12月21日
沖縄県・沖縄総合事務局

②九州－沖縄連携推進プロジェクト 取組状況について 【幹事：沖縄県、沖縄総合事務局】

目的

成長を続けるアジア市場は、今後さらに拡大・多様化していくと予想されており、当該市場に近接する九州・沖縄地域においては、アジア市場に向けヒト・モノの流れを活性化させていくことが重要である。その実現に向けては、九州・沖縄双方に多様に存する地域資源、技術、人材等を活かし重層的に連携していくことが不可欠である。このため、九州・沖縄の連携によるアジア市場等への展開に向けた関係者の意識を醸成し、連携方策及び展開方策を講じるとともに、具体的な取組を創出する。

連携概要



②九州－沖縄連携推進プロジェクト 取組状況について

【医療機器等開発】

平成27年度の主な取組

- 医療機器開発拠点を目指すうえで必要となる環境整備について議論するセミナーを開催(8月)。また、新産業創出の環境整備に向け、米国シリコンバレーとの連携を検討(9月～)。
- 効果的なアジア市場展開を図ることを目的とし、台湾との医療機器開発に係る連携を検討(8月～)。
- 九州経済産業局、九州ヘルスケア産業協議会、沖縄県、沖縄総合事務局経済産業部等において、九州・沖縄連携の具体的な方策検討及び事例創出に向け、現状、課題等について情報共有。
- 医産学官が参加する医工連携研究会を開催予定(第1回:12月)。

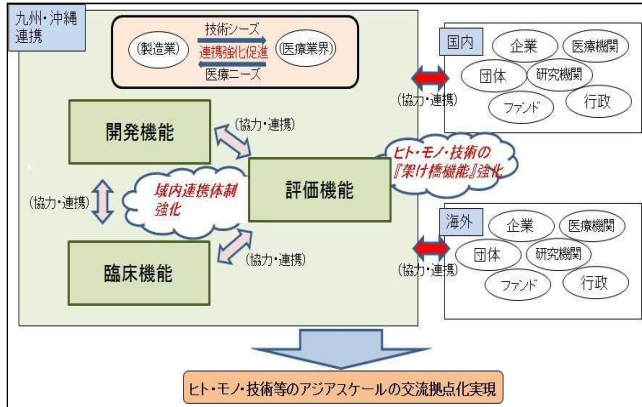


【米シリコンバレー意見交換】 【台湾医療関連機関 意見交換】

平成27年度医工連携研究会の重点事項

- ◆九州・沖縄連携に係る具体的方策の検討及び事例の創出
- ◆多様なネットワークの構築促進及びマッチング創出
- ◆新規参入を推進する環境整備の検討
- ◆産業集積・人材育成に関する検討

【九州・沖縄連携による海外展開イメージ】



今後の取組

- 九州及び沖縄の医産学官関係者が参加する研究会を継続開催。
- 九州・沖縄連携による医療機器開発拠点化(アジア等展開拠点化)に向けた推進方策及び推進モデル構築(アジア等との連携方策検討含)
- アジア地域等における医療機器ニーズの精査
- 多様なマッチングの創出促進
- 開発拠点化に向けた環境整備推進(アジア等との連携方策検討含)

②九州－沖縄連携推進プロジェクト 取組状況について

【食品のアジア展開】

平成27年度の主な取組

- 全国の農林水産物、食品等のアジア向け流通拠点・輸出拠点の形成(例:熊本県、宮崎県などはヤマト運輸やANACargoと連携協定を締結)
- 「第2回沖縄大交易会(沖縄大交易会実行委員会主催)」を11月開催。
- 「第3回アジアビジネス戦略推進会議(内閣府沖縄総合事務局主催)」を11月開催。
- 「沖縄国際ハブクラスター推進会議(内閣府沖縄総合事務局主催)」を8月開催。
- 「日本のおいしいもの展(沖縄県物産公社、内閣府沖縄総合事務局主催)」を11月開催。



今後の取組

- 全国の農林水産物、食品等のアジア向け流通拠点・輸出拠点機能を強化する。
- 具体的には、以下の取組を行う。
 - ・物流ハブの機能、具体的活用方法に関する認知度の向上を図るため、全国での相談会、国内外でのプロモーション。
 - ・沖縄大交易会を開催し、商談会を契機とした物流ハブの活用促進。
 - ・沖縄国際ハブクラスター推進会議各機関における広域連携に向けた方策検討、高付加価値商品開発及びブランディングなど。

深夜発⇒翌早朝着を可能にする運航ダイヤ

